



*Ukrainian  
Nationalism*  
*The Dilemma of Independence*

ウクライナ  
ナショナリズム

独立のディレンマ

中井和夫

東京大学出版会

ウクライナ・ナショナリズム／目次

Ukrainian Nationalism  
The Dilemma of Independence

Kazuo NAKAI

University of Tokyo Press, 1998  
ISBN978-4-13-036093-7

はじめに——ナショナリズムの現在……………一

## 第一章 ウクライナ・ナショナリズムの歴史と特質……………五

- 一 ウクライナ民族運動の系譜……………五
  - 民族運動のタイポロジー……………五
  - 文化運動……………九
  - 政治闘争……………一四
  - ガリツィアとドニエプル・ウクライナ……………一九
  - ベレストロイカ期の特徴……………三

二 ウクライナとロシア——東スラヴのアイデンティティ……………三三

「帝国」の喪失……………三三

汎ロシア連邦とユーラシア主義……………三七

ライナとロシアの関係……………三三

三 クリミアとオデッサ——多民族性の喪失……………四〇

多民族のクリミア……………四〇

クリミアにおける民族関係……………四三

ソ連解体後のクリミア問題……………四三

オデッサに見る民族の関係……………四六

## 第二章 ウクライナ化を求める運動……………七三

——六〇年代からベレストロイカへ……………七三

一 シェレストとシチェルビツキー——二人の第一書記……………七三

「同化派」と「非同化派」……………七三

シチェルビツキー……………七六

ノブイリ以降……………八二

歴史の見直し……………八四

二 ウクライナ語をめぐる運動——第三のウクライナ化……………七七

ウクライナ化の歴史……………七七

ウクライナ語をめぐる議論……………八九

党の反応……………九六

三 ユニェイト教会への道……………一〇一

ユニェイトの「登場」……………一〇一

ユニェイトの歴史……………一〇三

教会再建への道……………一〇六

## 第三章 独立へ……………一一三

——ソ連からの「退出」……………一一三

一 主権宣言から独立宣言へ……………一一三

ベレストロイカの下のウクライナ……………一一三

主権宣言……………一一九

新連邦条約……………一二三

独立宣言……………一二九

ウクライナにおける分離と独立……………一三四

八月クーデタのインパクト……………一三四

ウクライナ国内の分離主義……………一三九

国民投票と大統領選挙……………一四三

独立と共同体……………一四五

ソ連からの「退出」……………一五三

## 第四章 独立のディレンマ……………一七五

一 CISとウクライナ……………一七五

CISの成立とウクライナ……………一七五

ウクライナとロシアの関係……………一七六

CISとウクライナ……………一八四

二 独立のダイレンマ(1)——権威主義と経済再建……………一六  
 反対派の消滅と権威主義体制の成立 一六 経済問題 一四  
 クチマ政権の課題 一六

三 独立のダイレンマ(2)——国民統合の困難性……………二〇  
 「国家」の獲得のあと 二〇 国境の複雑さ 二〇 東西の分岐  
 二〇 統合の困難性——言語・宗教・地政学 二六 新しい国民  
 の可能性——「ユニエイト」的なるもの 三三

四 独立のダイレンマ(3)——ウクライナのゲオポリティカ……………三三  
 「新東欧」の登場 三三 「新封し込め」 三七 NATOの東方  
 拡大とウクライナ 三七

おわりに——民族関係論への展望……………三二  
 ソ連の解体と民族問題 三二 民族関係論への展望 三七

あとがき 三三

人名・事項索引 一

第二次世界大戦後のウクライナ (1945-1991)

